



〈認識の前提〉

木を植えても、その樹の花が受粉して実を付け種を残さない限り森にはならない。
 太古から大和ミツバチが日本の豊かな森をつくり動物を養い、川や海を豊かにして
 現在の日本の農業、漁業、生活環境、伝統文化をつくってきた。
 近年、その森（自然林）と、ミツバチ（ポリネーター）が激減している。

大和ミツバチの活動と役割＝相互依存の生態系



西洋ミツバチの活動と役割＝養蜂産業



〈問題意識と課題〉

A■日本の森は激減している・・・自然林が激減

▷人工林を除くと、自然林は30%（昔の1/3）

B■大和ミツバチは激減している・・・住み家（洞）が激減

▷住み家・食糧となる自然林の減少（昔の1/3）▷ポリネーターの激減

C■ミツバチ、ハチミツの誤解

▷外来種の西洋ミツバチが「ミツバチ」というイメージになっている

▷日本には、太古から日本ミツバチ（大和ミツバチ）がいる役割と認識がない

D■ミツバチの大量死の原因に西洋ミツバチが・・・

▷外来昆虫の西洋ミツバチがもたらす危機

▷海外では森を農地にしてきた森林破壊、農業問題・・・食糧生産

▷森が無くなると受粉する昆虫が棲む場所が無くなり昆虫が激減する

▷ポリネーターが生息するために被子植物の森林が必要という認識がない

▷もしミツバチがいなくなると、人類は4年で滅ぶ（アインシュタイン）

〈ミツバチの視点からの対応〉



- A▷被子植物・自然林を増や、農産物への貢献する BeeForest 活動
- B▷巣箱を森に設置＝BeeHouse 活動
- C▷ミツバチが森をつくる・相互依存の生態系 Bee Forest 啓蒙活動

森の成り立ち＝日本の成り立ち＝ミツバチと森の関係